江東区 青少年委員だより

No.62号
江東区青少年委員会
広報調査部
江東区青少年センター
江東区亀戸7-41-16
TEL.3681-7334
FAX.3681-8732

青少年委員制度発足60周年 記念講演会 記念のつどい

平成25年11月8日 青少年委員制度発足60周年記念講演会 開催
「親学のすすめ ～家族と地域の絆の再生～」

青少年委員制度発足６０周年を記念し、昨年11月８日、江東区文化センターで、明星大学教育学部教育学科教授・髙橋史朗氏をお迎えして、「親学のすすめ ～家族と地域の絆の再生～」と題し、記念講演会を開催しました。

髙橋教授は御自身の少年時代の経験をまじえて、親とこどもの絆の大切さや子の親としてまずは親が学ぶことが大切と講演。最後に、親守詩（おやもりうた・こどもが五七五で、親に詩を贈り、親が七七で子に親心を託す短歌や、俳句など）を紹介し、続いて脳性麻痺などの障害を持ったこどもと、その母親との詩を朗読。子が親に、親が子に対する深い愛情は、会場の参加者の心に熱く響きました。講演の後、会場の参加者たちと質疑応答を行い的確なアドバイスをしていただきました。

また、昨年11月２０日には、江東区東陽にあるホテルイースト２１東京で、「青少年委員制度発足６０周年記念のつどい」を開催。山﨑孝明江東区長を始め、来賓３７人、元青少年委員７４人の御臨席をいただき、現青少年委員４４人、担当職員２人も一堂に参加し、盛大に式典を執り行いました。来賓の方、元青少年委員の方々からお祝いの言葉を頂戴し、齊藤会長が挨拶に登壇。この記念すべき６０周年の年に現青少年委員であるよろこびを委員全員で分かち合うことができました。

平成25年11月20日 青少年委員制度発足60周年記念のつどい 開催
見応えあるDVDに 新旧委員 感動!!

式では、江東区深川がほこる葵太鼓による演奏が披露され、当委員会広報部制作による「青少年委員６０年の歩み」を、活動報告とスライド写真にまとめたDVDを公開。なつかしい当時の写真がスクリーンに映し出されると、大きな拍手と笑い声が会場を包みました。最後まで盛大に、そしてなごやかで楽しい会となりました。

区内８校 生の声 紹介 第7回 江東区内 都立高校紹介

平成２５年８月３１日（土）に第７回江東区内都立高校紹介が行われました。

朝から気温が３０度を超える大変な暑さの中、例年と違い都立高校の校舎を借りるのではなく、江東区文化センターのホールを会場に行われました。

当初９００名を超える申込みがありましたが、文化センターのホールは収容人員が５００名程しかないため、中学生保護者の同伴を控えていただくよう学校を通じてお願いをさせていただきました。保護者の皆さまのご協力の結果、当日は４８０名の参加で行うことができました。区内８校（深川・東・城東・江東商業・第三商業・墨田工業・科学技術・大江戸）の生徒も分散することなく１つの会場でクーラーもよくきいており、とても好評でした。

アンケートでは保護者の方々から、先生の意見ではなく生徒の生の声が聞け、それぞれの学校の特色などもわかり、とても有意義な時を過ごせたなど、好意的な感想をたくさんいただけました。

江東区民まつり 射的 なつかしの縁日 ポン菓子 初の試み

平成２５年１０月１９日（土）、２０日（日）木場公園にて毎年恒例の《江東区民まつり》が開催されました。

射的を楽しんでいただき、ポン菓子を配布する『なつかしの縁日』の風景を再現しました。

２０日は台風の影響で途中中止となるほどの大雨となりましたが、腰が痛い人も足が痛い人も一致団結して身体を動かし協力しあう仲間達に、"たいていのことはこなす青少年委員会"の姿を再確認した記憶に残る一日となりました。

第５回 深川南部地区 地区会探検!!

深川南部は小学校が14校あります。地域が広く普段全員揃うことが難しいため、特に定例会のあとの地区会を大切にしています。地域の情報、部会の情報と、新人委員さん旧人委員(?)さんの区別なく語り合います。この情報交換をしながらの飲みニケーションは盛り上がります。その甲斐もあり深川南部の結束は固くなっています。

夢の島 中学生 体験プログラム
いざ というとき 少しでも役立つことを！

平成２５年９月２８・２９日（土・日）都立夢の島公園にて恒例の「夢の島中学生体験プログラム」が秋晴れの中、開催されました。

江東区の中学生２５名（男子１５名・女子１０名）、ジュニアリーダー（JL）１０名、青少年委員２８名、計６３名が参加して、災害や非常時を想定したプログラムを体験しました。

午前中はJLとコミュニケーションについて体験し、昼食時は備蓄食料のかやくご飯や缶づめ、お菓子をいただきました。

午後からは、昨年に引き続き手作りランプ作りを行い、湾岸署の警察官より"もし襲われそうになったら"と護身術を教わり、２人１組になり実際に何度も練習しました。

その後、芝生広場でJLの指導のもとテント設営、夕食作りは豚汁・ご飯・小松菜のおひたしを作り、バーベキュー広場で手作りランプを灯した中、全員で食べました。

夜には「夢の島熱帯植物館ナイトツアー」を、続いて辰野委員による「手話体験プログラム ～聴覚障害はコミュニケーション障害～」講演を聞き、いくつか手話を習いました。

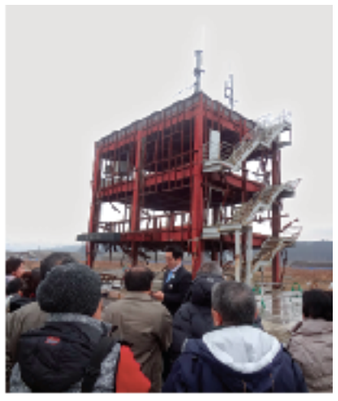
２日目は早朝ジョギングをし朝食後、テント撤収、第五福竜丸見学、最後に防災グッズ作りとして大きなごみ袋で"合羽"を作りました。

いろいろ体験し、いざというとき少しでも役に立つことがあればという思いの２日間でした。

感想

- コミュニケーションの大切さを感じた
- 日頃からもしもの時に備える
- 震災時、非常時に役立つことを学べた
- 知識を活かしていろいろなことに役立てたい

東日本大震災復興支援 宿泊研修会



東日本大震災で被害にあった宮城県南三陸町役場、津波による爪あとを今も残す。当時の被害の大きさを改めて認識し、被災者のご冥福をお祈り申し上げた。

平成26年2月1日から2日にかけて東北地方の平泉及び気仙沼に宿泊研修会を行いました。東京駅から新幹線はやてに乗り一ノ関駅へ。その後バスで厳美渓に立ち寄った後、中尊寺へ参拝。

南三陸の海岸にあるホテルに泊まり、翌朝ホテルから語り部バスに乗り震災当時のことについて、戸倉小学校のエピソード、志津川地区の状況等を実際に被災されたホテルの従業員の方からうかがう。「生き残ること」「生き延びること」「元の生活に戻ること」が災害時一番大切なことであるとのこと。

未だ復興途中である気仙沼の町々をみつつ復興のシンボルの一つである岩井崎の昇り龍の松を見学しました。昨年度の福島に引き続き復興の一助になることを祈りつつ無事研修旅行を行いました。

第35回ユネスコ世界遺産委員会で『世界文化遺産（世界遺産）』に登録された平泉。12世紀の初め、藤原清衡公（ふじわらのきよひらこう）により建立された中尊寺（焼失した物を後日再建）・金色堂を見学。

恩師と語った! 成人式

昨年の大雪とは違い快晴の中、平成２６年１月１３日（月）江東区成人式がティアラこうとうにて行われました。

今年は区内3,403人（男性1,785人、女性1,618人）が成人を迎え、式には2,338人の若者たちが参加しました。

式典は葵太鼓演奏に始まりお楽しみ抽選会、また、パラリンピアンの佐藤真海さんのメッセージに耳を傾けていました。

▲ 成人の写真撮影をする青少年委員

▼「恩師と語ろう」コーナー

毎年のことですが、江東区の新成人は立派な姿勢で成人式を迎えています。今年はメディアで報道されるほどに素晴らしい態度でした。懐かしい友人たちとの再会に賑わい、楽しそうな笑顔が溢れていました。

青少年委員会として、会場外では寒さの中でも交通整理や警備、看板前や人力車前での記念撮影をしました。会場内では金屏風前での記念撮影、着付け直し、フォトプリなどのお手伝いに汗をかきながら大奮闘。今年から新たに「恩師と語ろう」コーナーを設け、当時の出身中学校の先生たちと思い出話に花を咲かせていました。

毎年、コーヒーをサービスしてくださるお店の方々も目を細めながら素敵な挨拶と笑顔で出迎えてくださっていました。

成人を迎えられた皆さま、これからも大いなる活躍に期待します。

我々青少年委員会としても、何らかのお役に立てるよう今後も張りきっていきます。

ロジックツリーに挑戦!!! 第8回 江東区立中学校生徒会長交流会

平成２６年１月２５日（土）江東区立有明中学校において、区内２３校の生徒会の代表者が集まり、第８回中学校生徒会長交流会が開かれました。

午前の第一部では４グループに分かれて、他校との情報交換をとおして各校の特色ある活動、問題点、解決法などを話し合いました。「高齢者の方たちと交流をはかり地域活動を行なう」、「生徒会新聞をパソコンで作成する」など、各校から様々な取り組みの報告がありました。

午後の第二部では、「２０２０年（６年後）の東京オリンピック・パラリンピックに向けて ～私たちに出来ることは何か～」をテーマにグループごとに話し合いました。今回は青少年委員のグループを作り、青少年委員の立場からどんなことができるのか話し合い、応援するために広報や環境面をどうやったら盛り上げていくことができるかなど、短い時間のなかでしたが、グループごとに発表するまでにまとめあげました。

２０歳になった彼らが、６年後のオリンピックでどんな活躍をしてくれるのかとても楽しみです。

編集後記

広報調査部のモットーが「笑顔を忘れず楽しく！」でしたが、「締切迫ると苦しく！」になってしまいました。部長、副部長、先輩委員に感謝！（H・I）